

高市内閣総理大臣との協議の場に出席しました



協議に臨む藏内議長



高市総理をはじめとする関係関係

11月14日及び12月16日、「国と地方の協議の場」が総理大臣官邸で開催され、全国都道府県議会議長会会長として藏内勇夫議長が出席し、地域未来戦略及び地方分権改革の推進、物価高対策、令和8年度予算編成及び地方財政対策等について協議が行われました。

また、この協議の中で藏内議長は、人と動物の健康、環境の健全性を一つの健康として捉え、一体的に守っていく「ワンヘルス」の理念に基づく取組を全国に広めるための政府を挙げた取組や支援について意見を述べました。これに対し、上野賢一郎厚生労働大臣からは、「ワンヘルスの考え方に基づいて総合的な対応をしていくことがとても重要であると考えています。厚生労働省といたしましても、引き続き薬剤耐性、あるいは人獣共通感染症への対策や研究を推進する等の観点で適切な対策を講じていきたいと思いますが、このワンヘルスの動きが全国に広がるように、我々としてもしっかりと努めさせていただきたいと思っております」と発言がありました。また、片山さつき財務大臣からは、「ワンヘルスにつきましては、いろんなところに細かく予算が入っておりますが、最近の鳥ですとか家畜関係を含めると、まさに国家全体で取り組む課題でございますので、きっちりと対応させていただきたいと思っております」と発言がありました。さらに、鈴木憲和農林水産大臣からは、「政府として人獣共通感染症、そして薬剤耐性等の動物の健康などに関する分野横断的な課題に対しましては、関係省庁でしっかり連携して、その解決に向けて取り組んでまいりたいと考えております」と発言がありました。



会議の様子(出典:首相官邸HP)

国と地方の協議の場とは

「国と地方の協議の場に関する法律」に基づき、全国都道府県議会議長会を含む地方六団体の代表者と、内閣総理大臣や関係大臣を含む国の代表者が、地方自治に関する国の政策等について協議を行います。協議内容は報告書として国会に提出されます。

福岡県ワンヘルスセンターの起工式が執り行われました

11月5日、「福岡県ワンヘルスセンター」の起工式がみやま市で執り行われ、藏内勇夫議長、厚生労働環境委員会の山本耕一委員長、ワンヘルス・地方分権等調査特別委員会の野原隆士委員長をはじめ、地元議員等が出席しました。

藏内議長は、「ワンヘルスセンターが、人と動物の健康、環境の健全性を一つの健康として捉え、一体的に守っていくワンヘルスの理念のもと、行政、研究機関、医療・獣医関係者、地域住民など、あらゆる関係者が連携して課題に取り組む実践拠点として、国内はもとより、世界のワンヘルス推進に貢献できる場となりますことを、大いに期待しております。工事はこれから本格化いたしますが、関係者の皆さまにおかれましては、何卒、安全第一で、無事故無災害で工事を進められますよう、心よりお願い申し上げます」と挨拶しました。

ワンヘルスセンターは、人の健康と環境の保全に関する調査・研究を担う「保健環境研究所」と家畜に加え野生動物や愛玩動物の保健衛生を一元的に扱う「動物保健衛生所(新設)」が相互に連携し、ワンヘルスを実践する拠点として、みやま市の保健医療経営大学跡地に整備し、2027(令和9)年度中の供用開始を目指しています。



福岡県ワンヘルス推進ポータルサイト



みやま市立南小学校の皆さんと



ワンヘルスセンターのイメージ

県内の全市町村がワンヘルスの推進を宣言しました！

10月29日、福津市がワンヘルス推進宣言を表明したことにより、県内の全市町村がワンヘルスの推進を宣言しました。

全ての市町村がワンヘルスを積極的に推進する意思を明確にしたことは、ワンヘルスの理念が県民の生活に根ざし、具体的な行動へとつながる大きな一歩となります。

県議会としても、それぞれの地域におけるワンヘルスの取り組みが、やがて大きなうねりとなり、福岡県から日本、そして世界へと広がっていくよう、取り組みを進めてまいります。

第59号

福岡県議会ホームページ
<https://www.gikai.pref.fukuoka.lg.jp/>